

— 臨床 —

新潟中央病院歯科口腔外科における歯科インプラント治療についての臨床統計的検討

村山正晃^{1,2)}, 鶴巻 浩¹⁾, 大貫尚志²⁾, 勝見祐二²⁾, 黒川 亮²⁾, 高木律男²⁾

¹⁾ 医療法人仁愛会 新潟中央病院歯科口腔外科 (主任: 鶴巻 浩科長)

²⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野 (主任: 高木律男教授)

Clinicostatistical study of the dental implant treatment in the Department of Dentistry and Oral Surgery, Niigata Central Hospital

Masaaki Murayama^{1,2)}, Hiroshi Tsurumaki¹⁾, Hisashi Ohnuki²⁾, Yuji Katsumi²⁾,
Akira Kurokawa²⁾, Ritsuo Takagi²⁾

¹⁾ *Department of Dentistry and Oral surgery, Niigata Central Hospital (Chief: Hiroshi Tsurumaki)*

²⁾ *Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences (Chief: Prof. Ritsuo Takagi)*

平成 26 年 4 月 5 日受付 平成 26 年 4 月 10 日受理

Key words : dental implant, clinico-statistical study, elderly patient

Abstract

Dental implant treatment has become popular in recent years as a highly predictable treatment and has become an option for prosthetic treatment for missing teeth. We conducted a clinical and statistical investigation of patients who underwent dental implant treatment at the Department of Dentistry and Oral Surgery at Niigata Central Hospital, and hereby report our outline of these patients. Subjects comprised 244 patients who underwent implant surgery at our department over the 12.5 years from July 2000 through December 2012 and this study reported on the 295 surgical procedures conducted on these patients. The subject sample included 96 men and 148 women and the age at surgery ranged from 16 to 93 years (mean age: 59.5 years). Of the 244 patients, 118 had some kind of systemic underlying disease. The total number of implants was 682 and the cumulative implant survival rate was 98.7%. When examined according to site, 101 implants were placed to the maxillary anterior region, 215 were placed to the maxillary molar region, 97 were placed to the mandibular anterior region, and 269 were placed to the mandibular molar region. Types of implant superstructure included 128 single crowns, 171 fixed partial dentures, 4 fixed partial dentures connected to natural teeth, and 40 over dentures. Six patients lost implants (9 implants in total), of which 4 were lost before loading and 5 after loading. All patients underwent surgery under monitoring in a central operating room; 67 patients underwent surgery under intravenous sedation and 1 patient under general anesthesia. Results indicated that our department performs a relatively large amount of implant treatments for elderly individuals, which were confirmed to be safe and result in few lost implants.

抄録

近年、歯科インプラント治療は予知性の高い治療として広く普及するようになり、欠損補綴治療の選択肢の一つとなっている。今回、新潟中央病院歯科口腔外科における歯科インプラント治療を行った症例を総括し、臨床統計的検討を行ったのでその概要を報告する。対象は2000年7月～2012年12月までの12年6か月間に当科でインプラント手術を施行した244名で、それらに施行した295件の手術について調査した。性別は男性96例、女性148例で、手術時年齢は16～93歳(平均59.5歳)であった。基礎疾患については244名のうち、118名が何らかの全身疾患を有していた。総埋入本数は682本で、累積残存率は98.7%であった。部位別では上顎前歯部が101本、上顎臼歯部が215本、下顎前歯部が97本、下顎臼歯部が269本であった。上部構造の種類は、単冠が128装置、連結冠が171装置、

天然歯との連結冠が4装置、オーバーデンチャーが40装置であった。喪失例は6例9本で、荷重前が4本、荷重後が5本であった。全例中央手術室にてモニタリング下で手術施行され、静脈内鎮静法下は67件、全身麻酔下は1件であった。当科では高齢者にも比較的多くインプラント治療が行われていたが、喪失数も少なく、安全な治療であることが確認された。

【緒 言】

近年、歯科インプラント（以下、インプラント）治療は予知性の高い治療として広く普及するようになり、欠損補綴治療の選択肢の一つとなっている。一方、インプラントに関連した事故やインプラント周囲炎の増加など^{1,2)}も報告されるようになり、治療対象となる人口の高齢化、有病化なども相まってインプラントを巡る問題はより複雑化してきている。しかし、本邦におけるまとまった本数の長期にわたる報告は少ない^{3,5)}。新潟中央病院歯科口腔外科（以下、当科）では2000年7月からインプラント治療を導入した。そこで今回、当科においてインプラント治療を行った症例を総括し、今後の方向性を探り、インプラント臨床に資することを目的に臨床統計的検討を行ったのでその概要を報告する。

【対象と方法】

対象は2000年7月から2012年12月までの12年6か月間に当科でインプラント手術を施行した244名、295件の手術とした。調査項目は、性別、手術時年齢、基礎疾患、インプラントの種類、埋入部位・本数、上部構造、治療成績とし、診療録、手術記録を用いて調査した。

【結 果】

1. 性別、年齢別（図1）

性別では、男性96名（39.3%）、女性148名（60.7%）であった。患者の手術時年齢は16から93歳まで広範囲にわたっており、平均59.5歳であった。年齢別では60歳代が90名と最多で、以下50歳代が77名、70歳代が50名と続いていた。

2. 基礎疾患（図2）

244名のうち、118名（48.7%）が何らかの全身疾患を有していた。年齢別の有病者率の分布をみると、60歳代以上では50%を越え、80歳代と90歳代では100%であった。内訳は高血圧症が最も多く、脳梗塞、糖尿病、骨粗鬆症、心疾患などがみられた。なお、脳梗塞などで抗血栓療法を受けているものが14名みられた。手術前後の抗血栓療法の継続・休薬に関しては、継続したものが12名、アスピリン[®]、パナルジン[®]内服中でアスピリンのみ7日間休薬したもの、およびアスピリンを4日間休薬し

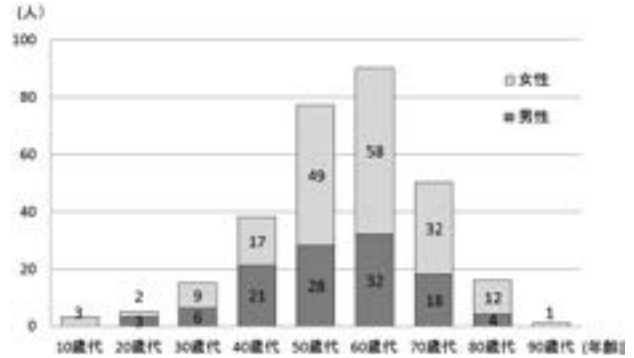


図1 性別および手術時年齢分布

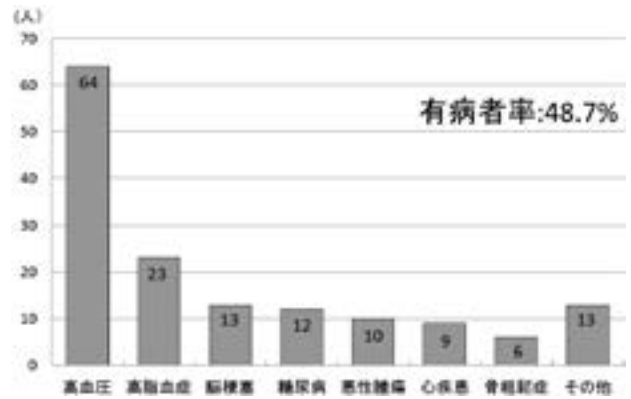


図2 基礎疾患

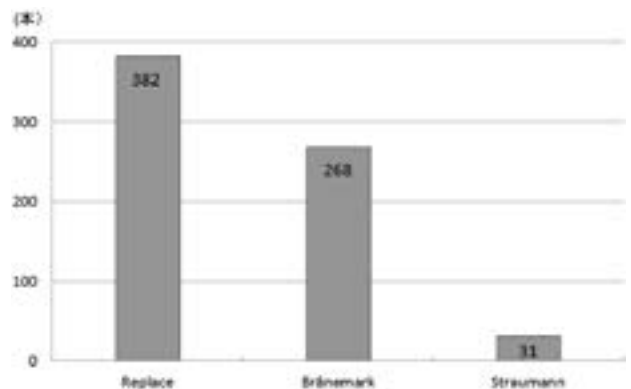


図3 埋入インプラント

たものが各1名であった。この14名の術後合併症についてみると、内出血斑を呈した症例が3例、腫脹が2例、軽度な出血が2例と重篤なものはみられなかった。上記の合併症を生じたものは2～6本と複数本の埋入であり、合併症に対して特に処置を要するものはなかった。

3. 埋入インプラントの本数および種類（図3）

総埋入本数は682本で、1回の手術における平均埋入